



2団だより (6月の活動トピックス)

発行責任者：団委員長 池澤 榮次郎

団本部：鶴林寺 宝生院内 (団HP「ボーイスカウト加古川第2団」検索)

一 団ファミリーイベント「加古川ウォークラリー」一

団では育成会のファミリーイベントとして、毎年、春は運動会、冬はスキーなどを行い楽しんでいます。

今年は運動会の代わりに6月18日に「加古川ウォーク・ポイントラリー」をしました。

このラリーは、国土地理院の2万5千分の1の地図を持って地図記号の地点(ポイント)に歩いて行き、証拠写真を撮って来るゲームです。団本部の鶴林寺を起点として、ポイントの数と距離や発見のむつかしいポイントには点数が加算され、一番多くのポイント数を集めたものが勝者となり、優勝班はCS松本副長班でものすごーい?賞品をゲット。

この日は、良い天気で暑くなりましたが、1班7名の家族とスカウト混成チームが7班でき、10時から14時30分までスカウト達がポイントを探して市内を探索しました。

ボーイスカウト活動のPRもできたかな・・・。

団委員長 池澤 榮次郎



ポイントラリーの説明・・・サーがんばるぞ

一 各隊6月の活動・トピックス一

○ ビーバースカウト (BVS) 隊

「カメ捕獲大作戦」 BVS隊長 中住 直哉

BVS隊は11日、外来種のミシシippアカミミガメについて勉強をしたうえで鶴林寺周辺に繰り出し、カメの捕獲を行いました。

天気があまり良くなかったため、甲羅干しをするカメがおらず、なかなか見つけられませんでした。隠れていたカメを1匹だけ捕獲することができました。



スカウトたちは、カメの動きの速さや大きさにびっくりしていました。

捕獲したカメは、隊長が責任を持って須磨水族館の亀楽園に届けました。



カメ・・・いないかなあ～。

○ カブスカウト (CS) 隊

「舎営訓練」 CS隊長 坂田 洋子

CS隊は、24日～25日、団本部の鶴林寺で舎営訓練をしました。

いよいよスカウト達にとって最高の季節がやって来ました。今年は滋賀県での天台キャンポリート発団50周年の記念キャンプが鳥取県の大山で行われます。

うさぎスカウト達は初めてのカブキャンプで、今回、キャンプの準備として舎営訓練をしました。



夕食は、竹を切って竹でご飯を炊きました。竹ごはんは、水加減がとてもむづかしかったですが、1組も2組も良い出来あがりでした。自分で炊いたごはんに竹の香りがして、とてもおいしかったです。

また、手染めのオリジナルTシャツづくりをしたり、夜の「きもだめし」では、リーダーが怖がらせ過ぎてスカウトを泣かせてしまいました。とても楽しい訓練舎営キャンプでした。

竹ごはん・・・出来た。

ボーイスカウト（BS）隊

「追跡ハイキング」 BS隊長 中田 直文

BS隊は11日（日）、鶴林寺公園で追跡ハイキングを行いました。

追跡ハイキングのキーワードは「観察」と「フルーツポンチ?」。スカウトは想像をめぐらせ班で協力しながら、パズルのような指令文を解読し指定された2つのポイントへ移動。まずは、草むらや木の枝に仕掛けられた人工物を観察し憶えた品数を競う「キムスゲーム」や班全員のペグ打ちの速さや正確さを競う「ペグ打ち競争」に挑戦しました。その後、班毎に自由ポイントの座標が与えられ、地図や追跡記号でポイントを確認しながら園内を巡りました。

「お宝さがし」ではフルーツ缶詰やサイダーをゲット。その他のポイントは「ロープワーク（初級章のおさらい）」、「UFOが降りるストーンサークル（方位角）」、「鶴林寺本堂の秘密（建物の向き）」、「謎の機関車（プレートの数字で計算）」など、観察力や想像力を駆使しながら得点を競いました。結果、ワシ班が67点（優秀賞）、フクロウ班が59点でした。ゴール後のフルーツポンチは最高のご褒美でした。



ポイントはどこだ・・・。

○ ベンチャースカウト（VS）隊

「ショートキャンプ」 VS隊長 幹 敬盛

VS隊は6月3・4日（土・日）に、3名でショートキャンプを行いました。高校生活に忙しい各隊員が少しでもキャンプを行えるよう宝生院の庭先で行う深夜～早朝の短いキャンプ。夜間の設営も、隊備品の携帯ガスコンロ等使用した食事も2年生スカウトには手慣れたものとなっています。

7月は滋賀県比叡山での天台キャンポリーがあり、8月は鳥取県の大山で発団50周年記念キャンプがあって、VSの活躍を見せましょう。



「スカウトは質素である?。」

ボーイスカウト活動に関心のある方・入隊を希望される方は、団 HP（「ボーイスカウト加古川第2団」(検索)）のメールでアクセス頂くか **団本部 鶴林寺宝生院 電話 079-422-6064** へお問い合わせ下さい。見学・体験入隊はいつでも可能です。

ボーイスカウト加古川第2団では、君の入隊をまっています。